

大震災・復興ニュース(第59報)

平成24年5月31日

仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

1 測定年月日 平成24年5月23日～29日

2 測定分析機関 宮城県, いであ(株), (財)日本分析センター, (財)日本食品分析センター,
東北緑化環境保全(株), (株)総合水研究所, (独)水産総合研究センター中央水産研究所,
(一財)九州環境管理協会, (公財)海洋生物環境研究所

3 測定及び対応結果

三迫川支流のイワナ, 二迫川・江合川各支流のイワナと江合川のウグイで基準値を超える放射性セシウムが検出されました。三迫川支流のイワナについては5月17日付けで, 二迫川・江合川各支流のイワナと江合川のウグイでは5月24日付けで, 県から出荷自粛を要請しています。

また, 岩沼市二の倉沖のスズキで基準値を超える放射性セシウムが検出されました。これについては, 4月12日付けで国から出荷制限指示が出ています。

さらに, 東松島市浜市沖のヒラメで基準値を超える放射性セシウムが検出され, これについては5月30日付けで国から出荷制限指示が出ていますが, 既に28日付けで県から出荷自粛を要請しています。

水産物(漁獲日 平成24年5月15日～5月24日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
アイナメ	気仙沼市本吉沖	4.7	ピンナガ	太平洋沖合	1.7
クロアナゴ	金華山～江の島沖	3.6	ウグイ	旧北上川(登米市)	3.4
カナガシラ	金華山～江の島沖	1.8	ウグイ	江合川(大崎市)	<u>270</u>
キツネメバル	江の島沖	不検出	イワナ	江合川支流杉の森沢(大崎市)	<u>200</u>
杓子ムツイ	江の島沖	不検出	イワナ	三迫川支流新湯沢(栗原市)	<u>280</u>
IVイワナ	江の島沖	2	イワナ	澄川(蔵王町)	4.6
クロソイ	江の島沖	不検出	ヤマトジミ	石巻市相野谷	不検出
ヒラメ	女川湾沖	4.3	イワナ	二迫川支流小野松沢(栗原市)	<u>120</u>
ケムシカジカ	女川湾沖	3.2	ヤマメ	雉子尾川(丸森町)	9.3
ババガレイ	大須沖	0.87	マダラ	鮎川～金華山沖	1.3
マコガレイ	大須沖	5.2	スズキ	鮎川～金華山沖	3.6
アイナメ	雄勝湾沖	3.5	アイナメ	女川湾沖	4.3
ヒラメ	雄勝湾沖	6.3	イシガレイ	女川湾沖	2.0
スズキ	岩沼市二の倉沖	<u>340</u>	サメガレイ	追波湾沖	不検出
クロソイ	岩沼市二の倉沖	4.2	イワナ	追波湾沖	不検出
ヒガンフグ	岩沼市二の倉沖	7.2	ヒラメ	雄勝湾沖	5.2
マゴチ	松島湾	3.2	ヒラメ	塩釜沖	1.8
マアナゴ	松島湾	6.6	マコガレイ	塩釜沖	7
スズキ	松島湾	7.0	マガレイ	塩釜沖	4
ヒガンフグ	松島湾	3.8	ヒラメ	仙台湾	2.0
マガレイ	仙台湾	1.7	ナガツカ	仙台湾	1.4
マダイ	仙台湾	不検出	ヒラメ	仙台湾	5.7
ヌマガレイ	仙台湾	2.0	スズキ	東松島市浜市沖	4.2
マダラ	仙台湾	7.9	ヒガンフグ	東松島市浜市沖	3.2
マコガレイ	仙台湾	1.2	ヒラメ	東松島市浜市沖	<u>230</u>
ケムシカジカ	仙台湾	9.6	スズキ	名取関上沖	3.7
ガザミ	仙台湾	1.6	マコガレイ	名取関上沖	1.4

スズキ	仙台湾	7.4	マガレイ	名取関上沖	1.8
イシガレイ	仙台湾	1.8	又マガレイ	名取関上沖	1.6
キアンコウ	仙台湾	2.4	シクヅラ	三陸沖	1.5
アブラザメ	仙台湾	7.7	アオザメ	日立・鹿島沖	3.6
キアンコウ	仙台湾	1.3	ヨシザメ	日立・鹿島沖	2.5
マガレイ	仙台湾	7.8	ネズミザメ	日立・鹿島沖	9.3
アイナメ	東松島市室浜沖	2.6	イナ(養殖)	七ヶ宿町	不検出
イリアイメ	亶理町	不検出	イナ(養殖)	七ヶ宿町	不検出

2 管内の復興に向けた動き

放射性物質値は漁獲日における値を示す。

< 水産漁港部からのお知らせ >

南部地区がんばる養殖復興事業実施計画書策定説明会

5月25日(金)、南部地区のがんばる養殖復興事業の実施計画書策定に向けた説明会が県漁協塩釜総合支所で開催されました。

説明会では、NPO法人「水産業・漁村活性化推進機構」の下高原氏と藤田氏を講師に、既に実施計画書を作成している宮戸西部支所グループの資料等を材料に、計画書の書き方、用意する資料などについて説明がありました。

仙台湾がんばる漁業復興支援事業刺網関係打合せ

5月29日(火)、南部地区の刺網漁業者によるがんばる漁業復興事業の打合せが県漁協塩釜総合支所で開催されました。

打合せでは、震災で被害に遭わなかった既存船12隻(浦戸東部支所6隻、七ヶ浜支所2隻、亶理支所3隻、塩釜第一支所1隻)を中心に計画(生産、流通・販売に関する事項等)作りを進めていくこととなり、今後代表者等による定期的な話し合いを行っていくことになりました。

< トピックス >

関上仮設魚市場開設式

5月29日(火)、関上仮設魚市場が開設されました。

この仮設魚市場は中小企業基盤整備機構により整備されたもので、当日の開設式では自動選別機によるアカガイ選別の実演が行われたほか、コタマガイ汁とたけのこ汁が振る舞われました。

震災後、県漁協関上支所では北海道や東京都から共同利用漁船などとして漁船を確保し、貝桁漁業の再開に漕ぎつきましたが、仮設魚市場の開設により関上ブランドの復活にいっそう弾みがつきそうです。



関上仮設魚市場

花洲浜の乾ノリ共同加工施設地鎮祭

5月31日(木)、七ヶ浜支所花洲浜の乾ノリ共同加工施設の地鎮祭が行われました。

これらの施設は平成23年度「水産業共同利用施設復旧整備事業」の繰越事業により整備するもので、年内の施設稼働が期待されます。

七ヶ浜地区では、今後6月上旬までにさらに8棟の乾ノリ共同利用施設の工事に着手する予定となっています。



花洲浜の乾ノリ施設建設予定地